



なんじゃくじばんじょう ぼうちやうてい きず 軟弱地盤上に防潮堤を築く ～課題と解決策～

講師：福島 裕充 氏

2022. 8/27 (土) 13:30~15:00

会場：東よか干潟ビジターセンターひがさす レクチャールーム

対象：中学生以上

定員：20名程度（先着順に受け付けます）



防潮堤という言葉が世間一般の人々に知らしめたのは、忘れもしない11年前の東日本大震災の巨大津波による被害がとてつもなく大きく、地震大国である我が国にとってこれからも起こる確率の高い津波から国民を救うには、「防潮堤の整備が必要である」と国の方針を示した時からだろうと推察する。確かに防潮堤は人命を守るためには必要な施設かもしれないが自然景観の喪失、内地と海との遮断など今まで培ってきた人と海との関係を疎遠なものにしてしまうような気がしてならない。非常に残念なことである。

さて、今回の講演では、まず皆さんが気になる東日本大震災後の復旧・復興状況と、これから起こる可能性が高い南海トラフ地震等による津波に備え事前に防潮堤を整備された地域を動画で紹介する。次に本題である軟弱地盤上の防潮堤について、佐賀県の場合を考えてみたい。佐賀県の南部は低平地の軟弱地盤地帯で、津波や高潮の対象となる海は「有明海」である。昔、豆腐のような地盤にどうすれば堤防を築けるだろうか？先人たちは悩んだだろう。いろんな地盤の改良策を考えた末に築堤された今の二線堤を通る時そう感じるのは私だけではないと思います。今は地盤改良の技術が格段に進み頑丈な防潮堤ができています。一緒に少しだけ堤防のことを考えてみましょう。

～福島裕充氏 プロフィール～

佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会 会長

西日本総合コンサルタント株式会社 代表取締役

大学卒業後、耐火物メーカーに就職。当時、はしりであった流し込みによる出銑樋材の研究開発に従事。

4年で退職し佐賀へUターン。西日本総合コンサルタント株式会社に入社、現在に至る。主に道路設計や構造物の設計に携わり平成13年に技術士(建設部門)取得。

趣味は、ゴルフ、釣り、音楽、盆栽など。

※ 新型コロナウイルス感染症等の状況により、内容を変更する場合があります。

参加無料

■問合せ先・申し込み

東よか干潟ビジターセンター ひがさす

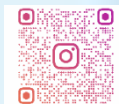
〒840-2222 佐賀市東与賀町田中 2757 番地 4

電話：0952-37-0515 FAX:0952-37-0548

mail:higasasu@city.saga.lg.jp



ひがさすHP



HIGASASU.SAGA.2020



HIGASASU
Higashiyaka-Higata VISITOR CENTER

